



ポイント1

- 1 can、must、may、shouldなどを助動詞と呼びます。助動詞は動詞の前に置き、動詞だけでは表せない意味をつけ加える働きをします。
- I **can** dance very well. (私はとてもじょうずにダンスをすることができます)
 - He **must** study math. (彼は数学を勉強しなければなりません)
- 2 **have [has] to** (～しなければならない= must)、**be able to** (～することができる= can) などのように、ひとまとまりで助動詞のような意味を表す表現があります。
- I **have to** clean my room. (私は部屋をそうじしなければなりません)
 - She **is able to** play the guitar. (彼女はギターを弾くことができます)

チェック1 次の下線部を日本語になおし、日本語訳を完成させましょう。

- (1) You can swim very well. あなたはとてもじょうずに []。
- (2) Ken must learn a lot of things. 健はたくさんのことを []。
- (3) They have to leave Tokyo soon. 彼らはすぐに東京を []。

ポイント2

- 1 助動詞を使った文の疑問文は、助動詞を主語の前に出します。
- You can ride a bike.
 - **Can** you ride a bike? (あなたは自転車に乗ることができますか)
- 2 助動詞を使った文の否定文は、助動詞のあとに **not** を置きます。can + not はふつう、**cannot**、**can't** のように表します。
- I can play volleyball very well.
 - I **cannot [can't]** play volleyball very well.
(私はあまりじょうずにバレーボールをすることができません)

チェック2 次の文を疑問文、否定文に書きかえるとき、_____ に適当な語を書きましょう。

- (1) You can play tennis very well.

[疑問文] _____ play tennis very well?

[否定文] You _____ tennis very well.

- (2) We must close the window.

[疑問文] _____ close the window?

[否定文] We _____ close the window.